

「#（ハッシュタグ）」とは、SNS等で特定のテーマについて検索して一覧表示する機能のことです。大分県内の農林水産業の中から選りすぐった旬の話題を県拠点からお届けします。

#農業女子プロジェクトメンバー情報交換会を開催しました

1月24日、大分県拠点において、県内の農業女子プロジェクト（PJ）メンバー同士の連携強化を図るため、交流や近況報告などを行う情報交換会を開催し、農業女子PJメンバーのほか、県内の女性農業者が参加されました。

大分県の地域商社であるOita Made株式会社から講師を招き、農産物の輸出や商品開発等の取組についてご講演いただきました。講演後は、講師も交えて、農業者各々の取組や今後の農業女子PJでの活動等について情報交換を行いました。情報交換会後も、農業者同士や講師と名刺交換や交流が活発に行われ、「関係を築く良い機会になった」との声をいただきました。



「農業女子プロジェクト（PJ）」

女性農業者が日々の生活や仕事、自然との関わりの中で培った知恵を様々な企業の技術・ノウハウ等と結びつけ、新たな商品やサービス・情報を社会に広く発信し、農業で活躍する女性の姿を知っていただくための取り組みです。

農業女子PJのHPはこちらから



#別府大学短期大学部の学生とオフィシャルインフルエンサーの交流会を開催しました

大分県拠点は、次世代を担う大学生への「みどり戦略」の理解醸成に向け、おおいた「みどり戦略」オフィシャルインフルエンサーと協働で出前授業を実施しています。第2回目は、1月22日に別府大学短期大学部食物栄養科の学生に対して、KKFARM工藤桂子さん（急遽オンラインで参加）とkaoluna和草ハーブ農園伊藤香菜子さんのお二人に参加いただきました。農業への思いやみどり戦略の意味などのお話と、ハーブ茶を調合するワークショップを行い、効能や香り、色などから各自が選んだオリジナルハーブ茶を試飲しながら、意見交換を行いました。学生からは、「お二人のお話を聞いて、3Kなどと言われている農業への見方が変わりました。」「実家が農家なのですが、農業に対して良いイメージを持っていただけのような発信をされていてとても嬉しいです。」など感想がありました。



#農政懇話会を開催しました

1月23日、「現場と農政を結ぶ」業務の一環として、マスコミ各社への情報提供と現場の意見を農政に反映させることを目的に「第12回農政懇話会」（今年度2回目）を開催しました。県拠点から、令和6年12月24日に公表された「令和5年農業産出額及び生産農業所得（都道府県別）」及び「令和6年産水稻の作況指数」、事前に各社から要望のあった「猛暑による米などの農産物への影響」、「九州におけるJ-クレジットの活用事例（水稻栽培の中干し期間延長等）」等について説明と情報提供を行い、その後、意見交換を実施しました。



森岡小学校生×農業女子×大分県拠点で農育・食育を実施しました

みどりの食料システム戦略では、調達、生産、加工・流通、消費の各段階において、環境負荷低減につながる取り組みを推進しています。大分県拠点では、今年度、食品ロスの削減や外観を重視した商品選択の見直しなど、持続可能な消費の拡大を推進するため、農業女子PJメンバーとともに、森岡小学校（大分市）の児童に、さつまいもの苗植えから、収穫、調理実習を体験する農育（野菜を育てる）、食育に取り組みました。



打合せ



草刈り（前・後）



耕起



畝立



苗植え（右は農業女子の皆さん）



生育観察



収穫



調理実習

詳しくはこちらから（大分県拠点HP）



農業者との意見交換

(有)北崎農園（豊後高田市）
令和7年1月20日

大分県拠点では「現場と農政を結ぶ」ことを目的に生産者・事業者との意見交換等を実施しています。ここでは、その一部をご紹介します。



～農業の可能性を拓げ、あらゆる人が輝ける農園を目指して～

豊後高田市で春の七草や白ねぎ、にんにくなどの栽培に取り組む(有)北崎農園と意見交換を行いました。主力品目の春の七草は、約46万パック生産しています。七草がゆは1年の無病息災を願って、正月7日の朝に食べると良いとされているため、12月下旬から1月4日までは収穫・パック詰めと大忙しで、七草の収穫期間の延べ雇用人数は約3,500人にもなります。外国人材も多く活用しており、コミュニケーションを大事に、スタッフの働きやすい環境整備に力を入れています。家族の健康を考えて考案した、黒にんにくを蜂蜜に漬け込んだ新たな加工品「黒にんみつ」の販売も始まります。

その他の意見交換についてははこちらから（大分県拠点HP）



大分県拠点へお気軽にご相談ください！

九州農政局大分県拠点
地方参事官室

〒870-0047 大分市中島西1-2-28
TEL 097-532-6131（代表） FAX 097-532-6281
URL <https://www.maff.go.jp/kyusyu/oita/index.html>

